



議会だより なかがわ

No.44

平成28年8月10日

栃木県那珂川町

テーマ (伝えたい故郷の行事)

八坂神社祭礼 神輿渡御



主な内容

5月臨時会の結果
6月定例会の結果
7月臨時会の結果
ここが聞きたい！
☆キラリ☆まちおこし・編集後記

一般質問(4人)

(2P~3P、7P)
(4P~5P、7P)
(6P、7P)
(8P~11P)
(12P~15P)
(16P)

新議長に塚田秀知議員

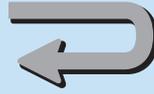
5月臨時会で議会構成変わる
常任委員長、広域議会議員も

〒324-0595 栃木県那珂須賀郡那珂川町小川2814-1

電話0287 (96) 2112

発行／栃木県那珂川町議会 ●編集／那珂川町議会広報特別委員会
e-mail gikai@city.nakagawa.lg.jp

任期4年の折り返し



新議長に

ひで とも

塚田秀知議員（前監査委員）

のぶ ちか

副議長に佐藤信親議員

よう いち

監査委員に小川洋一議員

議会運営委員・常任委員も再編、議会広報特別委員は継続

◆新庁舎建設工事:付属棟327㎡の近接工事契約で7,128万円

平成28年第3回那珂川町議会は、5月6日に臨時会が招集されました。

町長提出議案 議会選出監査委員の選任同意、新庁舎建設工事の一つとなる庁舎周辺の付属棟建設工事請負契約締結、条例改正の専決処分

議会提出議案 正副議長の選挙、議会運営委員・常任委員・議会広報特別委員の選任、南那須地区広域行政事務組合議会議員の選挙

議 会

議員任期の折り返しである2年
が経過し、那珂川町議会の慣例に
より、新議長に塚田秀知議員、副
議長に佐藤信親議員を新たに選出
しました。

また、任期満了による議会運営
委員会と、総務企画・教育民生・
産業建設の3常任委員会の委員を
新たに選任しました。開会中、た
だちに各委員会を招集し、それぞ
れの正副委員長を選出しました。

不偏不党、公平無私で

新任のごあいさつ

第9代那珂川町議会議長

塚田 秀知

この度、議員各位のご推挙をい
ただき、第9代那珂川町議会議長
に就任いたしました。浅学非才で
はありますが、住民各層の期待に
応えられますよう努力する覚悟で
あります。

議長の職責の重さに身も心も引
き締まる思いであり、不偏不党、
公平無私の立場を堅持し、融和を
第一として円滑な議会運営に努め
てまいりたいと思います。

少子高齢化、人口減少問題は今
なお解決の糸口が見出せない現状
であり、さらに、産業廃棄物最終
処分場と東日本大震災による指定
廃棄物との関係、TPPによる農
業問題など、町は課題山積であり
ます。

言うは易く行なうは難しであ
り、一朝一夕の解決は難しいと考
えますが、様々な課題解決に一層
努力し、執行部に対して苦言や提
言するともに切磋琢磨しながら、
また、町民各層の知恵を拝借し、
那珂川町が誰からも住み良い町
と思われるような郷土づくりに励
んでまいりたいと思っております。
議会改革もまだ道半ばであり、
町民目線に立ちながらさらに推進
していきたくと考えております。
町民皆様及び執行部のご指導ご協
力を賜りますようお願いを申し上
げます。



【モニターより】中学生や高校生に、議員の方々のかわいらしいイラストを描いてもらったら？

◆議長 塚田 秀知 (盛泉)
◆副議長 佐藤 信親 (小川)

◆議会運営委員会 (5名)

委員長 川上 要一 (小川)
副委員長 阿久津武之 (久那瀬)
委員 益子 明美 (馬頭)
岩村 文郎 (松野)
石田 彬良 (矢又)

◆議会広報特別委員会 (5名)

委員長 益子 輝夫 (天山上郷)
副委員長 石川 和美 (谷田)
委員 鈴木 繁 (小川)
佐藤 信親 (小川)
益子 明美 (馬頭)

◆南那須地区広域行政事務組合

議会議員 (6名)

石川 和美 (谷田)
益子 明美 (馬頭)
大金 市美 (大内)
岩村 文郎 (松野)
川上 要一 (小川)
阿久津武之 (久那瀬)

◆那珂川町監査委員 (議会選出)

小川 洋一 (松野)

◆総務企画常任委員会 (4名)

委員長 岩村 文郎 (松野)
副委員長 大森 富夫 (小口)
委員 大金 市美 (大内)
塚田 秀知 (盛泉)



岩村文郎委員長



大森富夫副委員長



大金市美委員



塚田秀知委員

◆教育民生常任委員会 (5名)

委員長 益子 明美 (馬頭)
副委員長 鈴木 繁 (小川)
委員 佐藤 信親 (小川)
益子 輝夫 (天山上郷)
小川 洋一 (松野)



益子明美委員長



鈴木繁副委員長



佐藤信親委員



益子輝夫委員



小川洋一委員

◆産業建設常任委員会 (5名)

委員長 石田 彬良 (矢又)
副委員長 阿久津武之 (久那瀬)
委員 石川 和美 (谷田)
川上 要一 (小川)
橋本 操 (小川)



石田彬良委員長



阿久津武之副委員長



石川和美委員



川上要一委員



橋本操委員

契 約

◆新庁舎付属棟建設工事の
請負契約締結

(全員賛成 原案可決)

発電機室や災害備蓄倉庫などを配置する付属棟 (鉄骨造1階建て 327㎡) の建設工事で、本体庁舎施工者の七浦・佐藤・鈴木特定建設工事共同企業体と、近接工事として7128万円の随意契約を締結するものです。

専 決 処 分

◆税条例等の一部を改正する条例
の専決処分 (全員賛成 承認)

地方税法等の一部改正が4月1日施行されたことに伴い、自動車取得税の廃止などに伴う所要の改正をしたものです。

人 事 案 件

◆監査委員の選任同意

(全員賛成 原案可決)

小川 洋一 氏 (新任)

議会選出の塚田秀知氏が辞職したことから、後任の小川洋一氏の選任に、異議なく同意しました。

【広報委員会より】ぜひお願いしたいです。心当たりの方、ご連絡をお待ちしております。

町予算100億円に

臨時福祉給付金などの補正で

◆行政区長連絡協議会から議会に対して陳情2件

- 〈議員定数削減〉 議会改革特別委員会の調査協議中で議長預かり
- 〈執行部への反問権付与〉 議会改革特別委員会に審査付託、継続審査に

◆町長提出議案…議案2件を議決、報告3件

◆議会提出議案…「川の日」陳情1件を採択し意見書提出へ

平成28年第4回那珂川町議会は、6月2日に定例会が招集されました。会期を3日までの2日間とし、一般質問4人のほか、補正予算など議案2件、株式会社まほろばおがわの経営状況など報告3件、陳情2件の審議を行いました。

補正予算

生ゴミの堆肥化へ

町民説明会を実施

◆平成28年度一般会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

昨年度に引き続き、消費税引き上げによる緩和措置の臨時福祉給付金事業に係る経費3000万円など総額4300万円を増額し、100億2300万円となりました。

- ・臨時福祉給付金事業に係る経費 3000万円
- ・生ゴミ堆肥化事業に係る経費 1100万円 など

質問 生ゴミ堆肥化事業委託料 622万円の内訳は。

答弁 堆肥化委託料282万円、収集運搬費340万円。

質問 説明会で聞いても理解しにくい。パンフレット作成の考えは。答弁 理解できるように検討する。

報告

◆平成27年度一般会計 継続費繰越計算書

庁舎建設工事費の27年度分5億円のうち、4億5800万円を28

年度に通次繰越することについて報告がありました。



「通次繰越」ってなに？

答 複数年度に渡る工事費等で当該年度に支出できなかった経費を翌年度に繰り越すことです。

◆平成27年度一般会計 繰越明許費繰越計算書

3月定例会において、平成28年度に繰り越すことを議決した、臨時給付金事業費(高齢者向け給付金)、地方創生加速化交付金事業費(ツール・ド栃木負担金、栃木材事業創造戦略事業経費)、農業費の担い手確保・経営強化支援事業 日など、5事業総額1億3890万円の繰越明許費について報告がありました。

◆株式会社まほろばおがわの経営状況

第3セクター「㈱まほろばおがわ」第15期(平成27年度)経営状況の報告がありました。

○経営の内容

- 入館者 12万3千人
- 売上げ 9775万円 (前年比0.5%増)
- 損失 1045万円 (前年比2.5%減)

【モニターより】43号(前号)の定例会の見出しは、見開きで大きく、インパクトがあった。

人事案件

◆人権擁護委員の推薦

(全員賛成 原案可決)

長山 宣弘 氏 (再任)

9月30日に任期が満了となる長山宣弘氏(久那瀬)を再任して、法務省に推薦することについて、議会の意見を求められたことから、異議なく賛同しました。

なお、現在の人権擁護委員は7名です。

請願・陳情

◆「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する

陳情者

川の日を国民の祝日にしよう会
会長 桑原史朗 氏 (壬生町)

審査経過

総務企画常任委員会に審査付託

審査日 6月2日

審査結果 採択

◆町執行部への反問権の付与に関する陳情

陳情者

那珂川町行政区長連絡協議会
会長 小川正典 氏

審査経過

議会改革特別委員会に審査付託

審査日 6月2日

審査結果 継続審査

意見書提出

陳情の採択に伴い、次の意見書を内閣総理大臣ほか国の関係機関に提出することを決定しました。

◆川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書

(全員賛成 原案可決)

提出先

- ・内閣総理大臣
- ・国土交通大臣、環境大臣
- ・衆議院議長、参議院議長

行政区長連絡協議会からの

陳情についてお知らせします

請願や陳情は、通常、町民あるいは国民の安心安全な生活、豊かな生活、福祉の向上のため、町や国に住民の意見や気持ちを伝えてもらいたいとして、議会に訴えてくるものです。

5月20日、町内37行政区の区長で組織される町行政区長連絡協議会の小川正典会長と菊池真一副会

長が、次の2件の陳情を塚田議長に提出しました。

- ①「議員の定数削減に関する陳情」
- ②「町執行部への反問権の付与に関する陳情」

この2件の陳情は、町政や国政に対するものではなく、私たち議会に対する陳情でありますので、ここに、その内容をご紹介します。議会の対応を報告いたします。

①「議員の定数削減に関する陳情」について

議会開会1週間前に開催する議会運営委員会で取り扱いを協議し、議長預かりといたしました。

議員定数の見直しについては、議会改革特別委員会(平成26年6月設置、川上要一委員長)での研究、検討事項とされており、今回の陳情提出の有無にかかわらず、今年度の実施的な取組みを始めようとしておりました。

このことから、陳情を受理して委員会に審査付託を行なうことは適当でない、とされたものであります。

現在、那珂川町議会の議員定数は15名(欠員1名)です。町民1160人に議員1人の割合です。

① 議員の定数削減に関する陳情

陳情の趣旨
(前段略)。

議会においては、議会改革特別委員会において、合併協議の議論を尊重され、平成20年に議員の定数を18人から15人に削減し、その後も議会基本条例を制定するなど、積極的な議会改革を推進しておりますが、類似町と比較しても議員定数面において、さらなる改革が必要と感じています。あわせて、議員一人ひとりのさらなる資質の向上も不可欠と考えます。

以上のことを踏まえ、昨年12月16日に開催した行政区長連絡協議会と議会との懇談会においてもこのことについて触れさせていただき、議長からは委員会を設置し前向きに検討するとの答弁をいただいていることから、次期町議会議員選挙から適用できるよう平成28年度中に検討を行っていただき、さらなる議員の定数削減を那珂川町行政区長連絡協議会の総意として陳情いたします。

那珂川町行政区長連絡協議会

【広報委員会より】議会にとっても町にとっても、色々な意味でインパクトのある出来事でした。

② 町執行部への反問権の付与に関する陳情

陳情の趣旨

那珂川町議会においては、議会基本条例を制定するなど積極的に議会改革に取り組み、議会活性化並びに町政発展のために尽力されておられますこと、敬意を表するところです。

しかしながら、議会傍聴やケーブルテレビで議会本会議の中継を拝見しておりますと、論点が不明確であったために議員の質問と町執行部の答弁の間でのズレが時折見られます。

那珂川町議会基本条委例においては、議員の質問に対して論点及び争点の明確化を図るため、議員に補足の説明を求めることができることとなっておりますが、町執行部から議員の考え方を問い返したり、対案の提示を求めたりすることにより、本会議における議員と町執行部との議論が深まることが期待されます。先進的な他市町村議会においても執行部に対して反問権を付与している議会もありますので、町執行部への反問権を付与していただきますよう那珂川町行政区長連絡協議会の総意として陳情いたします。

那珂川町行政区長連絡協議会

陳情には、県内の町の人口と議員定数の参考資料が添付され、行政区長連絡協議会の単純算出では、那珂川町議会の議員定数は、11・7人と示されています。

議会（議会改革特別委員会）としては、人口を根拠とする算出基準が妥当なのか、都市部と山間部での面積や地勢の違いの考慮は、地域性は、などの視点から、十分な検討が必要と考えています。

検討の結果は、今後、議会だよりの紙面でお知らせします。

② 「町執行部への反問権の付与に関する陳情」について

「反問権付与」の陳情は、反問権に関する事項が議会改革特別委員会（前述）の調査項目に含まれていなかったことから、本議会にあがることとなりました。

今回の定例会で、議長から議会改革特別委員会に付託され、継続審査となりましたが、今後、付託された議会改革特別委員会で広く調査、研究して慎重に審議し、結論を出していくこととなります。

認定こども園に向けて

第5回議会 7月臨時会

ひばり幼稚園を増築工事 0歳児～3歳児室を増設、
68台分の駐車場を確保で2億4,084万円

◆町長提出議案・・・議案1件を議決

平成28年第5回那珂川町議会は、7月6日に臨時が招集されました。会期を1日間とし、(仮称)認定こども園ひばりの増改築工事請負契約の審議を行いました。



ひばり幼稚園増築敷地（フェンス右側緑地に増築）

契
約

◆(仮称)認定こども園ひばり増改築の請負契約締結
(全員賛成 原案可決)

平成29年4月に認定こども園に変更となるひばり幼稚園の増改築と駐車場整備のため、鈴木建設株式会社2億4084万円の請負契約を締結するものです。

園庭の陽当たりを減らさないよう、東側に0歳児から3歳児の保育室5部屋416㎡と調理室棟115㎡を増築し、定員増加による36台分の駐車場と48台分の臨時駐車場を増設します。

【モニターより】なかちゃんの質問コーナー「○○ってなに？」は、わからない言葉を教えてくれて助かる。

◆平成28年度一般会計補正予算
(第2号)の専決処分の承認

(全員賛成 原案承認)

第18回栃木県消防協会南那須支部消防操法大会の小型ポンプ操法で、町消防団第2分団第3部(大内)が優勝し、栃木県消防操法大会(7月30日)に出場するため、激励金100万円の補正予算を専決処分したものです。



放水!!(第2分団第3部)

第3回臨時会(5月6日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:● ※大金市美議長は採決に加わりません。

議案の内容		議員名	鈴木 繁	石川 和美	佐藤 信親	益子 輝夫	大森 富夫	塚田 秀知	益子 明美	岩村 文郎	川上 要一	阿久津武之	橋本 操	石田 彬良	小川 洋一
承認第1号	那珂川町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成:○ 反対:● ※塚田秀知議長は採決に加わりません。

議案の内容		議員名	鈴木 繁	石川 和美	佐藤 信親	益子 輝夫	大森 富夫	益子 明美	大金 市美	岩村 文郎	川上 要一	阿久津武之	橋本 操	石田 彬良	小川 洋一
議案第1号	那珂川町監査委員の選任同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	那珂川町新庁舎(付属棟) 建設工事請負契約の締結について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第4回定例会(6月3日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:● ※塚田秀知議長は採決に加わりません。

議案の内容		議員名	鈴木 繁	石川 和美	佐藤 信親	益子 輝夫	大森 富夫	益子 明美	大金 市美	岩村 文郎	川上 要一	阿久津武之	橋本 操	石田 彬良	小川 洋一
議案第1号	人権擁護委員の推薦意見について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	平成28年度那珂川町一般会計補正予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書の提出について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第5回臨時会(7月6日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:● ※塚田秀知議長は採決に加わりません。

議案の内容		議員名	鈴木 繁	石川 和美	佐藤 信親	益子 輝夫	大森 富夫	益子 明美	大金 市美	岩村 文郎	川上 要一	阿久津武之	橋本 操	石田 彬良	小川 洋一
承認第1号	平成28年度那珂川町一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	(仮称)認定こども園ひばり増改築工事請負契約の締結について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【広報委員会より】行政のことを少しでもわかっていただいて、なかちゃんも喜んでいます。

一般質問！ 大森富夫議員



大森富夫議員

- Q 自治基本条例について
- Q 地域防災計画について
- Q スポーツ振興策について

自治基本条例の制定

質問 平成27年9月議会で、協働のまちづくりが自治基本条例の役割を担っていると答弁をしているが、その後の取り組みはどのようなになっているか。

答弁 第2次協働のまちづくり推進計画の中で、協働のまちづくりを理念とした条例制定も踏まえた取り組みを進めることとしている。

質問 いわば「町の憲法」とも言える自治基本条例を制定していないことについて、どのように考えているか。

答弁 基本的なルール等を定める自治基本条例の制定は重要な役割と意味を持っているものと考えて

おり、協働のまちづくりを考えていく中で検討していきたい。

質問 自治基本条例には住民投票の仕組みが盛り込まれることになると考えるが、町長の見解を伺う。

答弁 議会の中で住民から選ばれた議員と決定していきたいと考えており、住民投票制度の導入は考えていない。

地域防災計画

質問 地域防災計画の策定経過を伺う。

答弁 地域防災計画は平成20年3月に策定し、災害対策基本法改正や国の防災基本計画の修正、県地域防災計画の修正により、現在までに2回修正した。本年2月の計画修正に当たり、県協議、パブリックコメント、地域防災会議での審議を経た。

質問 避難場所がわかるようなダイジェスト版を全戸に配布することを検討すべきではないか。

答弁 平成25年に防災ハンドブックと防災マップを全戸に配布しており、災害時対応の参考にしていただきたい。修正後の計画は、議員のほか、行政区長にも配布した。

質問 産業廃棄物管理型処分場の災害を想定することも必要と思うが、どのように検討されているのか伺う。

答弁 県営産業廃棄物最終処分場に関しては、県の危機管理の中で策定すべきものであり、町防災計画とは乖離するものと考えている。

質問 避難訓練について、どのように検討されているか。

答弁 自主防災組織である行政区を中心に防災計画の啓発や避難等の訓練を実施してもらいたい。

スポーツ振興策

質問 「町民一人一スポーツ」のスローガンでスポーツ振興を推進してきたが、具体的な取り組みをどのように行なってきたか。

答弁 町体育協会の17専門部と各地域の31の支部との連携協力により各種スポーツ大会を開催したり、総合型地域スポーツクラブ「まほろばの里スポーツクラブ」連携によるスポーツ教室の開催などで、スポーツ振興を図っている。

質問 栃木県代表として全国大会に出場することは町にとっても名誉なことであり、出場に対するス

ポーツクラブへの助成金について、実態に見合うような内規の改訂を検討する考えはあるか。

答弁 参加団体や競技環境の変化に応じて改正してきたが、次代を担う少年スポーツ団体の関東、全国大会出場を踏まえ、各団体のニーズを踏まえながら補助金見直しを検討していきたい。

質問 ゆりがねマラソンは、スポーツを通して町をアピールする機会となっているが、一層発展させるための取り組みを伺う。

答弁 参加者が減少しているが、全国のマラソン人口から考えると種目などの工夫により参加者を獲得できると考える。

質問 当町は6年後の栃木国体の競技会場誘致に成功してしない。会場誘致への取り組みを伺う。

答弁 国体の会場誘致にはレスリング、卓球、剣道、アーチェリーの4競技を希望したが、本町開催希望と実施競技団体の開催意向が合わなかったため内定せず、公開競技の綱引き、ゲートボール、パワーステッピング、グラウンドゴルフ、武術太極拳の5競技を希望した。

【モニターより】横の表紙は良い。前号の綺麗なフォームのピッチャーも光っていた。女子チームも掲載して。

子育て世代包括支援センターの早期設置を

(町長) 子育て支援課内に設置する方向で準備していきたい

子ども・子育て支援事業と

子育て世代包括支援センターの設置

質問 子ども子育て支援法に基づき市町村が実施する事業に利用者支援事業があるが、いつから実施する考えか。

答弁 従来から、子育て担当、母子保健福祉担当及び子育て支援センターで実施している。

質問 その他の地域・子ども子育て事業の状況は。

答弁 子育て待機支援事業は、今年度からさくら市の児童養護施設



益子明美議員

に委託して開始した。病後児保育事業は、今年度中に那須南病院で開設するため施設整備を行うことが決定している。その他の事業は従来より実施している。

質問 妊娠から就学まで切れ目なく支援するワンストップで総合的な支援が提供できるよう、「子育て世代包括支援センター」を早期に設置すべきと考えるが。

答弁 今年度「子育て支援課」を設置し、母子保健手帳の交付時に担当保健師が面接を行い細やかな相談支援を実施する「かかりつけ保健師事業」を開始した。

今後は仕組みの確立や関係機関との連携システムの構築などの検討を重ね、町の組織機構改革に合わせて子育て支援課内にセンターを設置する方向で準備を進めて行く考えである。

質問 厚生労働省が推進している「妊娠出産包括支援事業」(日本版

ネウボラ)は、フィンランドがモデルになっている。フィンランドでは、育児パッケージという母親手当現物給付制度があるが、町でも取り入れてはどうか。

答弁 千葉県浦安市や京都市などでモデル事業として先進的な取り組みが行われている。母子健康保険手帳交付の際に妊娠・出産・子育てを支援し、親子の絆を形成するアイテムとして何が必要か意見を伺うなどして、導入に向けての調査研究を行なっていく。

小規模特認校制度の導入

質問 馬頭西小の統合についての話し合いはどのように行われ、地域住民や保護者の方々の考えをどのように捉えているか。

答弁 平成26年に定めた小学校統合方針により、28年4月の統合を目標に話し合いを重ねてきた。昨年度、引き続き話し合いに取り組むことを要望するとの要望書が提出され、昨年9月に説明会を開催したが、統合に対して十分な理解は得られていないと受け止めている。

質問 町は小中学校の統廃合問題

に関しては統合だけを考えてきたが、地域の特性を活かした小規模特認校制度の導入を取り入れるなど、新しい考え方を模索するつもりはないのか。

答弁 町内の他学区の児童が入学できるこの制度は、他の学校の学級編成に大きな影響を与えることから、町ではこの制度を導入する環境にないと考える。馬頭小においても十分に地域の特性を活かした魅力ある教育ができることから、小規模特認校制度の導入は考えていない。

公共施設の

管理運営基本計画の策定

質問 新庁舎建設により旧庁舎をどうするのかという問題をはじめ、町有の公共施設をどのように統廃合・改修・長寿命化していくのかという問題がある。総合的、計画的な管理計画を策定すべきではないか。

答弁 昨年度から町有施設の固定資産台帳の整備に着手し、今年度は公共施設の統合管理計画を策定することとなっている。

ここが聞きたい

一般質問！ 益子明美議員

Q 子ども・子育て支援事業と

子育て世代包括支援センターの設置について

Q 小規模特認校制度の導入について

Q 公共施設の管理運営基本計画の策定について

一般質問！ 佐藤信親議員

- Q 放射能汚染廃棄物の受け入れについて
- Q 小川幼稚園の跡地利用について
- Q 小川出張所の設置について
- Q 公園墓地の整備について

小川出張所を現在地に

(町長) 既存施設の利用を考えている



佐藤信親議員

小川幼稚園の跡地利用

質問 小川幼稚園の跡地利用についてどのように考えているか。

答弁 町有財産の適正管理と活用の観点から、議員の提案も含め地域住民や福祉関係事業者の意見、要望等を考慮して検討を進めたい。

質問 晴天時には園庭に設置されている遊具を利用しての遊び場として、雨天時のために室内遊具を整備して子育て世代が活用するなど、キッズパーク的な機能を持たせた施設として有効利用できないか。

答弁 雨天時の遊び場として、大田原、矢板、黒磯等の商業施設内の施設を利用しては認識している。町としても、馬頭福祉センターや子育て支援センターに遊具等を用意しているが、大きな施設については今後十分検討していきたい。

質問 小川幼稚園の既存遊具を鉄クズとして処理するのではなく、有効利用をすべきと考えるが。

答弁 移設や競売等も検討し、鉄クズとして廃棄することはないよ

うにしていきたい。

小川出張所の設置

質問 小川地区の住民感情からして、小川庁舎跡地に出張所を設置すべきと多くの住民が要望しているし、庁舎等検討委員会報告書の付帯意見にもあるが、出張所の設置をどのように考えているか。

答弁 新庁舎完成後の小川地区の住民窓口機能については、新たな施設ではなく、既存の町有施設を使用し、住民サービスの低下に繋がらないようにしていきたい。

公園墓地の整備

質問 故郷を離れた方々が故郷回帰したり、移住された方々が墓地を求めようとしても困難な状況にある。公園墓地を整備し、迎え入れることで新しい交流も生まれると思うが、どのように考えるか。

答弁 公営墓地整備については、少子化に伴う無縁墓地の増加などの課題や、各種法令等の規制等もあり、関係宗教学法人などの関係団体の協力を得ながら調査、検討していきたい。

放射能汚染廃棄物の受け入れ

質問 指定廃棄物が解除によって一般廃棄物となった場合、通常のゴミとして焼却されると考えてよいか。

答弁 指定廃棄物として指定されたものについては、環境省の責任において処理すべきと考える。条件が整わなければ協議に応じることはないし、県にも同一步調を取るよう強く要望した。

放射能汚染物質は入れないことが基本であり、今後、環境保全協定の中で県と協議をしたい。

高齢者・独居老人対策をきめこまかに

生活状況や希望に応じて必要な支援を行なっていく

(健康福祉課長)

独居老人の把握とその対策

質問 独居老人をどのように把握しているか。

答弁 各地区の民生委員が把握し、月例の定例会で情報提供や生活相談、必要な支援の確認などを行なっている。

質問 独居老人への支援対策は。

答弁 生活支援事業や生活支援ホームヘルパー派遣事業、寝具洗濯サービス事業などを実施して、



益子輝夫議員

暮らしをサポートしている。買物は生活支援ホームヘルパー派遣事業により支援している。

質問 買物や通院など移動対策は。

答弁 通院にはデマンドタクシーを利用している。

子どもの貧困・ひとり親家庭対策

質問 子どもの貧困が全国的に問題になつている。

ひとり親家庭の生活実態の把握

はどのように行なっているか。

答弁 個々の状況は民生委員児童委員や母子保健推進員、県派遣の自立支援相談員、学校等の教育機関からの情報により把握している。

質問 ひとり親家庭への対策、支援は。

答弁 生活困窮の相談があれば県に情報提供し、自立支援や生活保護の支援につなげている。就職活

動等の相談や貧困家庭における学習支援を県委託業者が実施している。

県営最終処分場

質問 最近の県の資料に載っている「第13号廃棄物」とは、具体的に何を指すのか。

答弁 廃掃法施行令第2条第13号に規定されているもので、汚泥等のコンクリート固形物や焼却灰の溶解固定物が該当すると聞いている。

質問 県資料に平成27年11月までは掲載されていなかった。危険な固形物が入ってくることに對して、町長の見解を伺う。

答弁 13号廃棄物が現にどのようなものであるのか、県に改めて確認したい。

質問 建設方法がPFI事業となった理由は。

答弁 PFI事業は公共事業の手法の一つで、民間の技術力、資金力等を活用し、安全性とコスト削減を図ることから導入したと聞いている。

質問 県や業者のリスク分担はどうなるのか。

答弁 PFI方式を採用しても県が責任を持つことには変わりはない。

質問 リスク問題に関する県文書には風評被害などに対する対策が記載されていないが、話し合う考えはあるのか。

答弁 風評被害など想定し得る被害について、県としっかり協議していく。



搬入路として県が整備している町道備中沢線（和見側入口）

ここが聞きたい

一般質問！ 益子輝夫議員

Q 高齢者対策について

Q 子どもの貧困について

Q 県営最終処分場について

【広報委員会より】多くのことを伝えたいと思って、どうしても文字で埋めてしまいがちです。欲張りですみません。

《議会運営委員会の経過》

議会運営委員会

開催日 5月2日
平成28年第3回議会臨時会（5月臨時会）の運営について、協議しました。

開催日 5月6日

5月臨時会開会前に、正副議長の選挙等について、協議しました。また、開会中、任期満了による常任委員の再編に伴い、正副委員長を選出しました。

開催日 5月26日

平成28年第4回議会定例会（6月定例会）の運営について、協議しました。

開催日 7月1日

平成28年第5回議会臨時会（7月臨時会）の運営について、協議しました。

《常任委員会の経過》

総務企画常任委員会

開催日 5月6日

任期満了による常任委員の再編

に伴い、正副委員長を選出しました。

開催日 6月2日

「川の日」の祝日制定に関する陳情について審査し、採択すべきとなりました。その他、所管事務調査等について協議しました。

開催日 6月28日

町の事務事業の所管事務調査として、庁舎整備事業など4件を調査いたしました。



新庁舎建設資材を伐採した菅沢町有林（大山田上郷）

開催日 7月14日

土地開発基金取崩し金について協議いたしました。

教育民生常任委員会

開催日 5月6日

任期満了による常任委員の再編に伴い、正副委員長を選出しました。

開催日 6月2日

所管事務調査等について協議しました。

開催日 6月15日

6月10日の馬頭高校襲撃予告事件について、教育長から報告を受けました。

開催日 6月29日

町の事務事業の所管事務調査と



公有地化を要望する那須神田城跡

して、史跡公園の管理など4件を調査いたしました。

開催日 7月6日

町の事務事業の所管事務調査として、生ゴミ堆肥化事業など2件を調査いたしました。

産業建設常任委員会

開催日 5月6日

任期満了による常任委員の再編に伴い、正副委員長を選出しました。

開催日 6月2日

所管事務調査等について協議しました。



テニスコートが小動物ふれあい広場に（指定管理となった青少年旅行村グリーンヒル）

【モニターより】前号の町民1人当たりの目的別予算額は、イラスト入りで良かった。

開催日 6月30日

町の事務事業の所管事務調査として、荒沢地内上水道原水浄水設備等工事など6件を調査いたしました。

開催日 7月6日

町営温泉入湯料等の見直しについて商工観光課長より説明を受け、値上げについて協議しました。

《特別委員会の経過》

議会改革特別委員会

開催日 6月2日(第12回)

町行政区長連絡協議会から提出された、執行部への反問権付与に関する陳情について審査し、継続審査となりました。

開催日 6月13日(第13回)

議会資料のペーパーレス化と運営効率化のため、3回目となるタブレット端末講習会を開催しました。今回は、主に通信回線について、事業者から説明を受けました。

議会改革特別委員会小委員会

開催日 7月6日(第16回)

町行政区長連絡協議会から提出

された、執行部への反問権付与に関する陳情について検討しました。

また、本会議での一般質問の方式や議員定数について、具体的な調査研究にとりかかることとしました。

毎年1月から2月に開催している議会報告会を、11月頃に4ヶ所で開催し、その他、常任委員会が所管団体と開催することが提案されました。

開催日 7月19日(第17回)

執行部への反問権付与に関する陳情の審査検討として、町行政区長連絡協議会小川正典会長から趣旨説明を受け、その内容を議会改革特別委員会に報告することとしました。

議会広報特別委員会

開催日 5月6日

2年任期の慣例による議会広報特別委員の再編により、正副委員長を選出しました。

開催日 6月27日

7月22日、29日

議会広報紙「議会だより なかがわ」第44号(当号)発行の編集会議を行いました。

新庁舎建設現場を視察

3月10日及び6月3日、新庁舎建設現場を視察し、工事関係者から工程や進捗状況の説明を受けました。

■ 地盤改良の状況(3月10日)

地下3mの地層状況を目視し、安全な地盤であるとともに、柱が埋設される地盤の改良状況を視察しました。



深さを確認しながらの地盤改良を視察

■ 100tクレーンの稼動状況(6月3日)

最大92mに伸び、稼動範囲61mの100tクレーンの稼動状況を視察し、倒壊や転倒のないよ



う、十分な安全管理をお願いしました。

◎ 新庁舎建設工事安全祈願祭・ 鍬入れ式(1月21日)

新庁舎建設に際し、工事関係者による安全祈願祭が行なわれ、町関係者のほか、議会からは大金市長(当時)ら全議員が参列し、美議長(当時)ら全議員が参列し、大金議長が玉串奉奠、鍬入れを行い、安全を祈願いたしました。



玉串奉奠(大金議長(当時))

【広報委員会より】硬い内容なので、少しでも和らぐよう工夫しています。

《議員も勉強しています》

広域ごみ焼却施設勉強会

開催日 4月16日

平成39年度稼働目標の南那須地区広域行政事務組合保健衛生センターのごみ焼却施設の建設費が、70億円と試算されています。

多額な負担でもあることから、(一社)日本環境施設支援機構の専務理事、石川禎昭氏(工学博士、環境カウンセラー)の講話をいただき、適正なあり方について、ごみ焼却施設に関する勉強会を開催しました。勉強会には、那珂川町議会全議員の外、那須烏山市議会議員14名、両市町及び広域組合職員など36名が参加しました。



石川禎昭講師

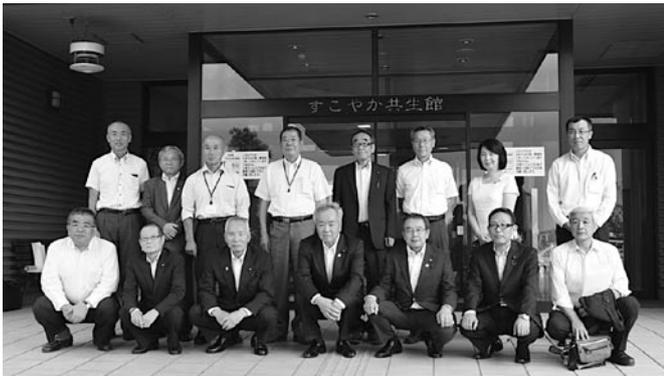
《視察来町》

山形県西川町議会 議会運営委員会

6月20日

山形県西川町議会の議会運営委員会委員4名など7名が訪れ、議会運営や議会活性化について視察されました。

那珂川町議会からは、塚田議長のほか、議会改革特別委員会(川上要一委員長)の正副委員長などが出席して説明し、意見交換を行いました。



前列西川町議会、後列那珂川町議会

山梨県町村議会議長会

7月14日

山梨県町村議会議長会(8町6村)として、山梨県内町村議会の議長14名、議会運営委員会12名など28名が訪れ、議会運営や議会活性化について視察されました。

那珂川町議会からは、塚田議長のほか、議会改革特別委員会の川上委員長や同委員会小委員会の委員が出席して、説明や意見交換を行いました。



山梨県内14町村の議長(前列)と議会運営委員長(後列)の皆さん(すこやか共生館にて)

前議長 大金市美議員 肖像写真を掲額

6月2日、6月定例会開会に先立ち、第7・8代議長として、大金市美前議長の肖像写真を掲額いたしました。(合併後の歴代議長の肖像写真は議場後方に掲額しています。)



新旧議長による除幕

那珂川町議会 歴代議長

初代	大金伊一	H17.10.7 ~ H18.4.30
第2代	杉本益三	H18.5.2 ~ H20.5.2
第3代	小川洋一	H20.5.2 ~ H21.9.15
第4代	石田彬良	H21.9.15 ~ H22.4.30
第5代	川上要一	H22.5.6 ~ H24.5.7
第6代	鈴木和江	H24.5.7 ~ H25.10.22
第7代	大金市美	H25.11.18 ~ H26.4.30
第8代	大金市美	H26.5.8 ~ H28.5.6
第9代	塚田秀知	H28.5.6 ~ 現在

お見舞い

熊本地震で被災されました方々
に対して、お見舞いを申し上げます。

那珂川町議会議員会では、日本
赤十字社を通じ、義援金を贈ら
せていただきました



議会事務局からのお知らせ
人事異動(4月1日付)により、
議会事務局が、次のとおりとな
りました。

事務局長(新)	高林 伸栄
書記(局長補佐)	岩村 房行
書記(係長)(新)	長家佳奈子
併任書記(新)	岡 多恵子
併任書記	五月女倫子
退任	
事務局長	板橋 了寿
書記(係長)	加藤 啓子
併任書記	藤田 善久

議会の日程&内容

(Pは記事の掲載場所です)

平成28年
5月

- 2日 議会運営委員会
- 6日 議会運営委員会
- 6日 平成28年第3回議会臨時会 (P2)
- 6日 総務企画常任委員会
- 6日 教育民生常任委員会
- 6日 産業建設常任委員会
- 6日 議会運営委員会
- 6日 議会広報特別委員会
- 10日 議会だより第43号発行
- 23日 全員協議会 (6月定例会)
- 26日 議会運営委員会

6月

- 2日～3日 平成28年第4回議会定例会(P4)
- 2日 議会改革特別委員会 (第12回)
- 2日 総務企画常任委員会
- 2日 教育民生常任委員会
- 2日 産業建設常任委員会
- 3日 新庁舎建設工事現場視察 (100tクレーン)
- 13日 タブレット端末講習会
- 15日 教育民生常任委員会
- 20日 山形県西川町議会運営委員会視察来局
- 24日 栃木県町村議会議長会 (議長)
- 27日 全員協議会 (7月臨時会)
- 27日 議会広報特別委員会 (第1回、第44号発行)
- 28日 総務企画常任委員会 (所管事務調査)
- 29日 教育民生常任委員会 (所管事務調査①)
- 30日 産業建設常任委員会 (所管事務調査)

7月

- 1日 議会運営委員会
- 6日 平成28年第5回議会臨時会 (P6)
- 6日 教育民生常任委員会 (所管事務調査②)
- 6日 産業建設常任委員会
- 6日 議会改革特別委員会小委員会 (第16回)
- 14日 総務企画常任委員会
- 14日 山梨県町村議会議長会視察来局
- 19日 議会改革特別委員会小委員会 (第17回)
- 22日 議会広報特別委員会 (第2回、第44号発行)
- 29日 議会広報特別委員会 (第3回、第44号発行)

8月

- 10日 議会だより第44号発行

【広報委員会より】新聞にならって縦書きとしていますので、ご理解願います。

小川那珂クラブ

監督 大橋忠興ただおきさん
(小川)



なかちゃんが聞きました。

Q 小川那珂クラブの指導はいつから?

A 平成7年に小川那珂クラブを結成してからずっとだよ。平成15年から監督として指導をしているよ。

Q クラブの成績は?

A 監督になってから県大会優勝2回、準優勝3回、関東大会3位になったよ。

Q 指導で気をつけていることは?

A 子供たちを預かって指導しているの、練習や試合中に怪我をすることがないように気を付けています。

Q 野球をとおして子供たちに伝えたいことは?

A 野球技術の向上は勿論だけど、社会に出て活躍する立派な大人になってほしい

です。あいさつは野球以前の問題だから、その基本のあいさつは徹底しています。

Q 子供たちに望むことは?

A 小川那珂クラブを卒業してもずっと野球をしてほしい。そして社会人になって地元に戻り、野球を続けて町のスポーツ振興に貢献をしながら、次の子供たちの指導にも携わってほしい。

Q 将来の夢を教えてください?

A 小川那珂クラブの子どもが将来プロ野球で活躍することが私の最大の夢!

Q 監督にとって野球とは何?

A なくてはならないスポーツであり人生そのもの!。監督の野球に対する情熱が伝わってきます。これからも頑張ってください。

A ありがとう。体の続く限り



ノックする大橋監督

り子供たちに野球の指導をしていきたいと思えます。



厳しくも笑顔のミーティング

Q 監督以外のことだけ、以前は何をしていたの?

A 勤務していた吉野工業所の野球チームで選手、監督をしていたよ。監督時代には2年連続を含めて県大会3回の優勝をしたんだ。

Q 野球の他、審判もするの?

A 現在も町の審判部には所属をしているし、以前は栃木県軟式野球連盟の技術指導員をしていたよ。南那須地区で最初に指導員講習会を受講したのが実は私なんですよ。

Q 趣味は?

A ゴルフ、鮎釣り、そして審判仲間とお酒を飲むこと。

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも一度傍聴してみませんか。

次の定例会は、9月6日開会
(平成28年第6回議会定例会)の予定です。
議場は、小川庁舎3階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

◎議会傍聴者数

第3回5月臨時会	5月6日	2人
第4回6月定例会	6月2日	2人
	3日	10人
第5回7月臨時会	7月6日	1人

●表紙写真

八坂神社 天王山

神輿渡御(小川)

7月16・17日の2日間、八坂神社の天王山による神輿渡御が行われました。神輿は昭和34年に作られ、今年で57年目。

小川地区山車保存会の山車も巡業し、恒例の「打ち合わせ」が行われました。

八坂神社は、小川温泉神社境内に祀られています。

編集後記

参議院議員通常選挙が終わり、マスコミは「改憲勢力圧勝」(自民、公明、おおさか維新)を伝えているが...

安倍総理を始め自民党は、選挙中「改憲」については一言も触れなかった。

戦後初の野党と市民団体、グループの統一候補が、1人区の全国32選挙区で11人が当選した。特に東北6県で5人の統一候補者が当選した。

これは、国政を変える貴重な一歩を築いたことになったと思う。国政選挙での初めての野党統一と市民、グループが作りあげた大きな成果であると思うが、皆さんはいかがお考えでしょうか。

議会広報特別委員会

委員長 益子 輝夫

謹告

公職選挙法の趣旨を踏まえ、申合せにより初盆の御挨拶は自粛いたします。

那珂川町議会